

## 弥富相生山線にの住民意向調査の検討委員会は怎么样了？

### 議事内容は秘密？資料も日程も「非公開」。議事録は「不存在」

住民意向調査検討委員会は2014年4月16日、5月15日、5月20日、6月18日の4回、開かれました。委員は市長以下14人。

この検討委員会は「庁内会議」と位置付けられ、事務局は道路建設を推進している「緑政土木局・道路建設課」です。

「庁内会議の概要」は中々公開されませんでした。公開されても内容は2～4行で、どのように議論されたかは不明です。資料は非公開情報とされ、スケジュールも非公開。議事録は「不存在」だとか。これでは住民は全くの蚊帳の外。市民不在の検討委員会です。



▲公開質問状を読み上げる「市民の会」

## 請願に対する当局の説明に「公開質問状」を提出

4月30日、土木交通委員会で3団体が弥富相生山線に関する請願を提出。審査にあたり当局の経緯説明を不服として「弥富相生山線を考える市民の会」「相生山の自然を守る会」は以下の項目等の公開質問状を6月17日に市長あてに提出しました。(HP)

①道路建設の理由など納得のいく説明がなく、市民・住民は合意ができたと思っていない。②自然環境・生活環境への道路の影響、交通量調査などが不十分。特に生活環境への影響の予測を行っていないことへの疑問。③事業の費用とすでに使った費用の内訳など。「8割の事業進捗」の正確な意味。同時に住民意向調査の非公開性への疑問、道路建設課が事務局をやることへの疑問、住民参加についての要望塔も同時に質問しましたが、6月30日の期限には回答は届きませんでした。これで果たして9月までに調査ができるのでしょうか？

④事務局は第三者委員会が担当すること、⑤中止の場合、出来ている建造物を使って公園・遊歩道にしたらどうかなどを要望しました。これを受けた黒川緑政土木局長の説明は「ちゃんとやっている」「検討中」というもので、きちんと質問に答えていたとは言えないものでした。

### 湯川栄光議員（減税日本）が意向調査に関して議案外質問

6月27日の質問は①市民に何故、秘密にするのか？会議の内容の公表をすること、②調査に「生きた資料」を使うこと、③道路建設理由が変更されていることの説明をすること、



湯川議員（HPより）

④事務局は第三者委員会が担当すること、⑤中止の場合、出来ている建造物を使って公園・遊歩道にしたらどうかなどを要望しました。これを受けた黒川緑政土木局長の説明は「ちゃんとやっている」「検討中」というもので、きちんと質問に答えていたとは言えないものでした。

河村市長と黒川緑政土木局長が  
都市計画変更に関及

#### 黒川緑政土木局長の説明

「緑地の用途変更、都市計画変更などの検討はしたことがないし、検討の予定はありません」。

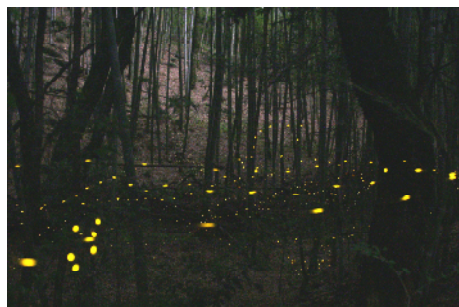
#### 河市長が黒川局長の説明を訂正

黒川局長は、事前のレクチャーでは「他の用途に使う場合の都市計画変更は現状では検討はないが、合理的な理由があればやればよい」と言ったのに、今、違うことを答えたので、ここで私が訂正します。

# ヒメボタルの光の乱舞は夢のよう 400 人以上の市民が観賞会参加

5月30日(金)と31日(土)の夜9時から、「市民の会」は「相生山の自然を守る会」と共催で「ヒメボタル観賞会」を開きました。両日で400人以上の市民が、天白区を中心に緑区、瑞穂区、南区、昭和区などからヒメボタルを見にきました。子どもたちの参加も多く、このように美しい自然をいつまでも残していきたいと痛感しました。

相生山緑地のヒメボタルの存在は最近、広く知られるようになり、遠くから来る方もいます。夜の森は清々しく、ヒメボタルの光は神秘的です。相生山緑地を排気ガスで汚したり、騒音や振動で静かさが破られたりすることが無いように、光の饗宴がいつまでも続くように、市民の力で相生の森を守りましょう！



もし、弥富相生山線が出来たら、1日1万台を超える車が相生山緑地を抜けて、瑞穂区を通過します。だから瑞穂区の市民からも不安の声が出ています。

5月31日、「市民の会」は瑞穂区の弥富・中根学区の市民との懇談会を開きました。スライドを使って交通問題を説明しましたが、参加者からは交通量が増えることによる新たな渋滞や通学路の危険性などの心配の声が上がりました。同時に相生山緑地の自然を守りたいとの意見も多くありました。

「市民の会」と瑞穂区の市民は瑞穂区選出で前土木交通委員の藤田和秀議員と弥富相生山線建設問題について数日前に懇談したので、その報告もありました。

瑞穂区の方たちは懇談会終了後、ヒメボタルを観賞しました。

弥富

の環境

への

影響

は瑞穂

区で

大きい

## 下山畑で道路は終わりに！

6月30日、「市民3分間議会演説」で野並の外波山さんが「中断中の市道弥富相生山線のすぐ近くに住んで思うこと」を「土木交通委員会」でスピーチしました。

「タヌキが現れ、オオタカが舞う緑地を守ってほしい、建設途中のシェルターは学童の自然学習の場希少生物の資料展示場として有効利用。自然を守ったモニュメントとして残せば良い」と訴えました。「市道弥富相生山線は下山畑を終点にしたらどうでしょうか」という提案で締めくくりました。訴える力の強い3分間演説でした。

## 緑政土木局道路建設課と懇談

「市民の会」は「市道弥富相生山線」に関して、名古屋市に「公開質問状」を折々に提出しています。それ以外に、当局との懇談を行っています。

職員の異動があり、緑政土木は局長以下、大きく移動がありました。それでお互いを知るためにも5月に懇談。6月にも懇談をしました。

「住民意向調査検討委員会」の会議の様子は公開されてないし、市民不在のまま、進展もはかばかしくありません。マスコミもこの問題を取りあげることが少なくなっています。情報を市民の皆様と共有するためにも当局との意見交換をこれからも続けていくつもりです。